

2022年3月期
決算短信説明資料
株式会社カーチスホールディングス

東証スタンダード:7602

2022年5月11日



【1】 2022年3月期 当期連結決算の状況 P2
① 国内の中古車市場の背景	
② 損益計算書	
③ 貸借対照表	
④ キャッシュ・フロー計算書	
【2】 2022年3月期 トピックス P7
① 売上構成の推移	
② 特別目的会社であるカーチスファンドを活用したリースバック関連事業の開始	
③ 千葉中央販売センターオープン	
④ 当社株式が貸借銘柄に選定	
⑤ 海外関連事業	
【3】 2023年3月期 通期業績予想 P11
① 業績予想について	
② 成長戦略について	



【1】 2022年3月期 当期連結決算の状況

【1】2022年3月期 当期連結決算の状況

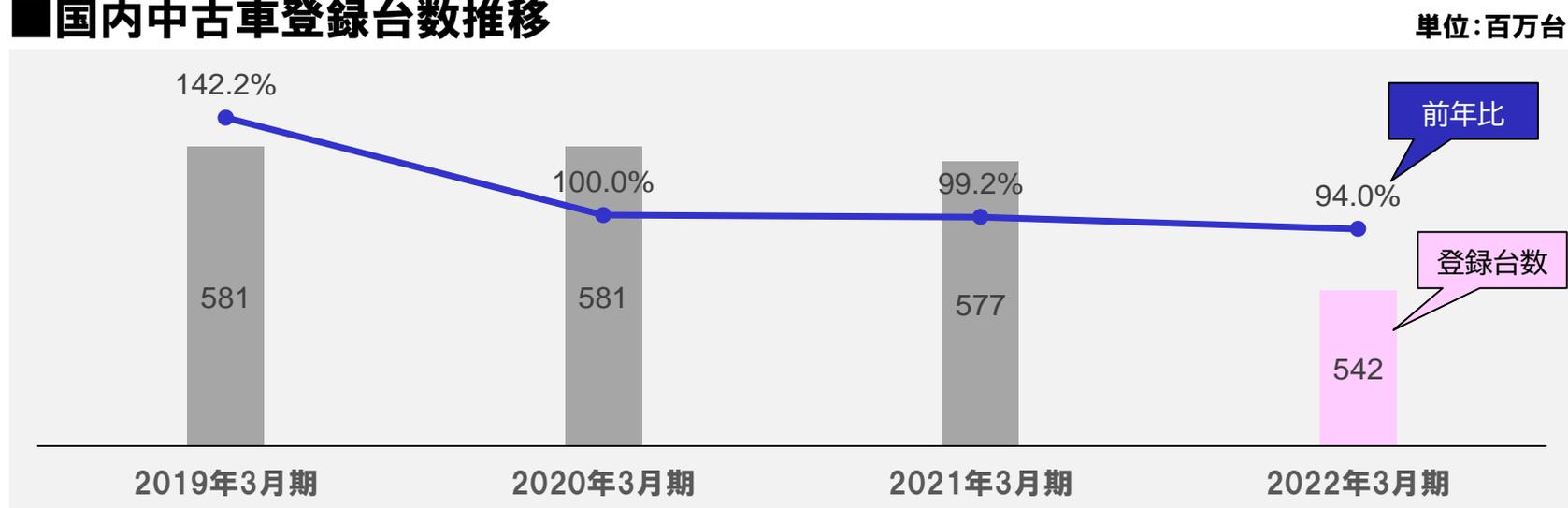
① 国内の中古車市場の背景

中古車登録台数(2021年4月～2022年3月)

5,429,071台

前期5,773,140台 (前期比:6.0%減)

■国内中古車登録台数推移



出店:日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会

- ◆ 2021年4月～2022年3月の期間の中古車登録台数(軽自動車含む)は542万台(前期比6.0%減)となりました。半導体不足に伴う新車の納車長期化の影響により下取り車が減少し中古車の流通に影響しました。



【1】2022年3月期 当期連結決算の状況

② 損益計算書

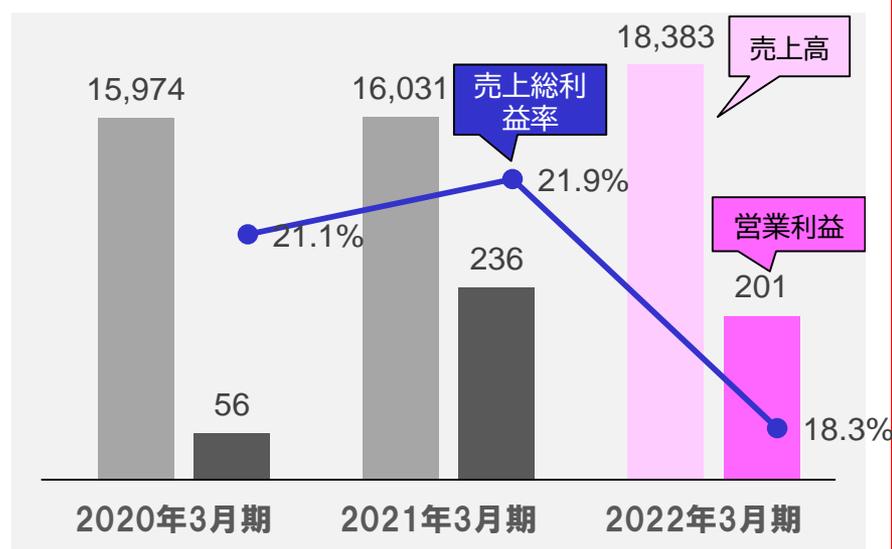
■連結累計業績前年比較

単位:百万円

	2022年 3月期	2021年 3月期	増減
売上高	18,383	16,031	+2,351
売上総利益	3,363	3,504	▲140
販売管理費	3,161	3,267	▲105
営業利益	201	236	▲35
経常利益	213	243	▲30
当期純利益	▲293	157	▲450
売上総利益率	18.3%	21.9%	▲3.6%

■連結累計期間3ヵ年推移

単位:百万円



- ◆ 当累計期間は粗利率の一時的低下により営業利益は前期を下回る結果となりましたが、新規事業である『カーチスファンドを活用したリースバック関連事業』が収益に大きく寄与し、当第4四半期会計期間では営業利益306百万を計上し、前第4四半期会計期間比26.0%の増益となりました。
- ◆ 特別損失として454百万円計上したことにより、当期純損失は293百万円となりましたが、今後、現行基幹システムの改修や『カーチスファンドを活用したリースバック関連事業』を推進し持続的成長と企業価値の向上をはかってまいります。



【1】2022年3月期 当期連結決算の状況

③ 貸借対照表

■連結期末貸借対照表前年比較

単位:百万円

	2022年3月期末	2021年3月期末	増減
流動資産	6,155	5,745	+ 409
固定資産	1,471	1,903	▲432
総資産	7,626	7,648	▲22
流動負債	1,892	1,696	+ 195
固定負債	288	180	+ 108
負債合計	2,180	1,876	+ 303
純資産	5,445	5,771	▲326
負債・純資産合計	7,626	7,648	▲22
自己資本比率	69.2%	73.3%	▲4.1%

- ◆ 当連結会計年度末の資産合計は7,626百万円となりました。主な要因は現金及び預金の減少631百万円、商品の増加602百万円などによるものです。
- ◆ 当連結会計年度末の負債合計は2,180百万円となりました。主な要因は短期借入金の増加550百万円、買掛金の減少240百万円などによるものです。
- ◆ 当連結会計年度末の純資産合計は5,445百万円となりました。主な要因は利益剰余金の減少によるものであります。



【1】2022年3月期 当期連結決算の状況

④ キャッシュ・フロー計算書

■連結期末キャッシュ・フロー計算書前年比較

単位:百万円

	2022年 3月期末	2021年 3月期末	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	▲1,046	▲319	▲727
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲181	▲99	+281
財務活動によるキャッシュ・フロー	515	▲112	+627
現金及び現金同等物の期末残高	1,596	2,227	▲631

- ◆ 現金及び現金同等物の期末残高は1,596百万円となりました。
- ◆ 営業活動によるキャッシュ・フローは1,046百万円の支出となり、増減の主な要因は売上債権の増加(306百万円)、棚卸資産の増加(575百万円)、仕入債務の減少(240百万円)によるものです。
- ◆ 投資活動によるキャッシュ・フローは99百万円の支出となり、増減の主な要因は敷金及び保証金の回収による収入による増加(135百万円)、有形固定資産の取得による支出(157百万円)、無形固定資産の取得による支出(64百万円)によるものです。
- ◆ 財務活動によるキャッシュ・フローは515百万円の収入となり、増減の主な要因は短期借入金の増加(550百万円)、長期借入金の返済(75百万円)によるものです。

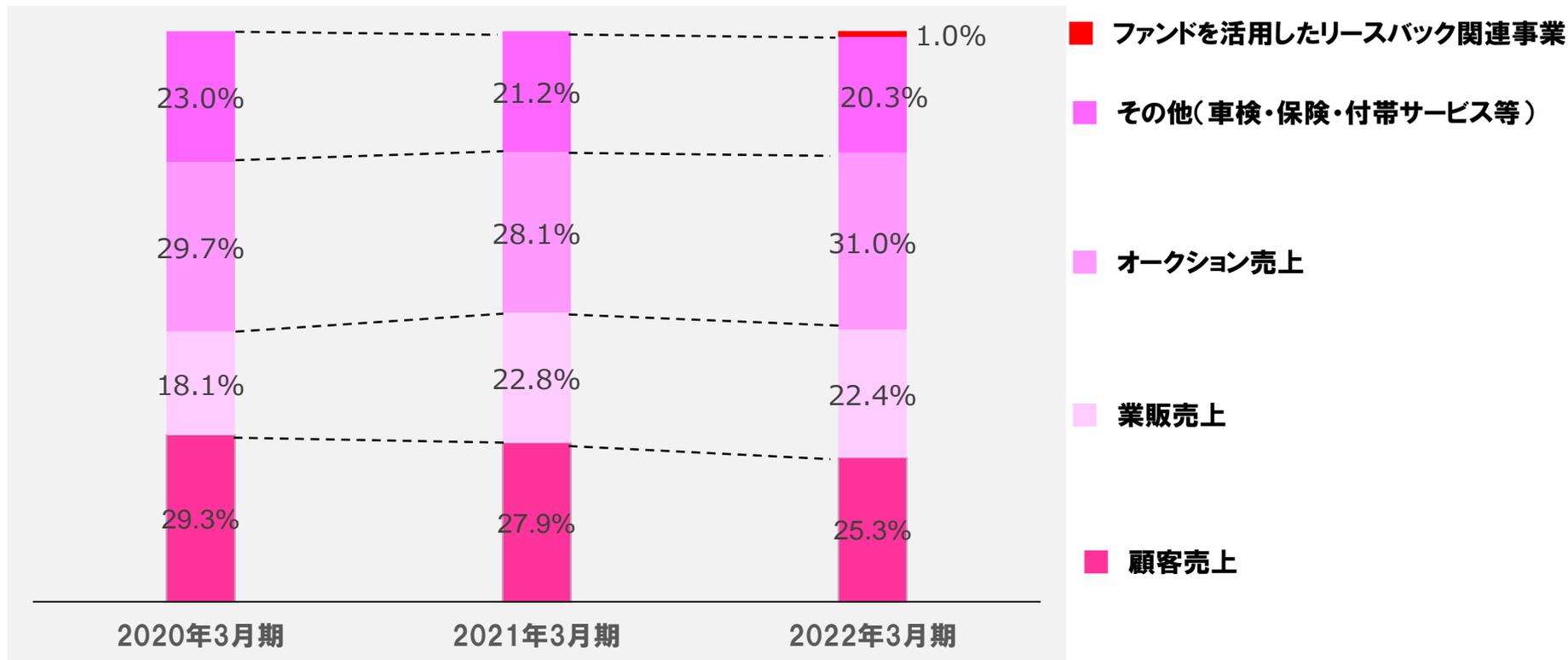


【2】 2022年3月期 トピックス

【2】2022年3月期 トピックス

① 売上構成の推移

■売上構成比率推移



- ◆ 前期に引き続き商用車のBtoB取引が寄与し業販売上の構成比が前期と同水準となっております。
- ◆ 当期より開始した『カーチスファンドを活用したリースバック関連事業』が売上構成比の1%を占め、来期以降も引き続き事業の強化を行ってまいります。

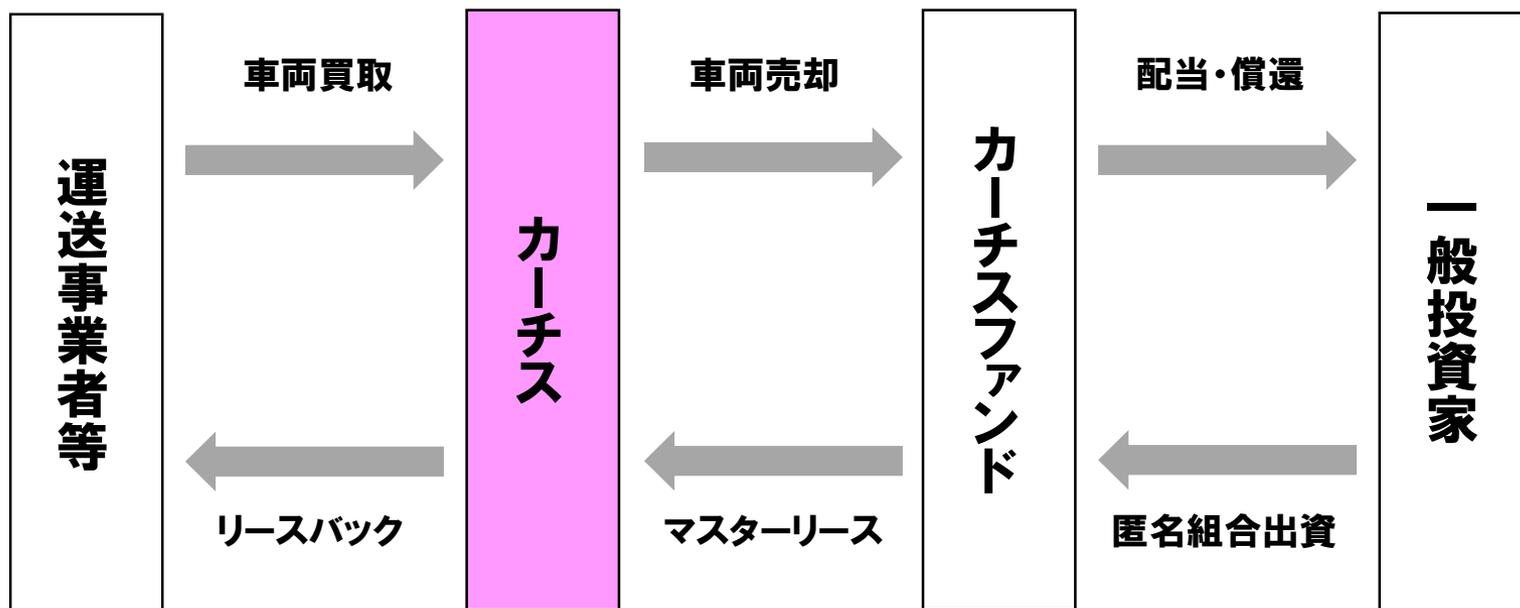


【2】2022年3月期 トピックス

② 特別目的会社であるカーチスファンドを活用したリースバック関連事業の開始

■特別目的会社であるカーチスファンドを活用したリースバック関連事業

取引の流れ(イメージ)



- ◆ 当期より開始した『カーチスファンドを活用したリースバック関連事業』が当第4四半期において収益に大きく寄与いたしました。
- ◆ 当事業は事業用車両を取り扱う運送業者等を対象とした経営支援、運送業界の活性化、ひいては日本経済を支える一助にも繋がる公共性の高い事業でございます。



【2】2022年3月期 トピックス

③ その他のトピックス

千葉中央店販売センターオープンしました

- ◆ 2022年6月4日に千葉中央販売センターがオープンしました。全国から買い取った車両の中から厳選した良質車を業界最高水準の保証制度のもと販売をしております。

当社株式が貸借銘柄に選定されました

- ◆ 従来より制度信用銘柄に選定されておりましたが、2022年3月15日より貸借銘柄に選定されました。当社株式の流動性及び需給関係の向上を促進し、売買の活性化と公正な価格形成に寄与いたします。

海外関連事業について

- ◆ BtoB取引の強化により、輸出販路の拡大を進め、新規輸出国を増やすことで輸出台数が増加いたしました。



【3】 2023年3月期 通期業績予想

【3】2023年3月期 通期業績予想

① 業績予想について

■売上高

単位:百万円

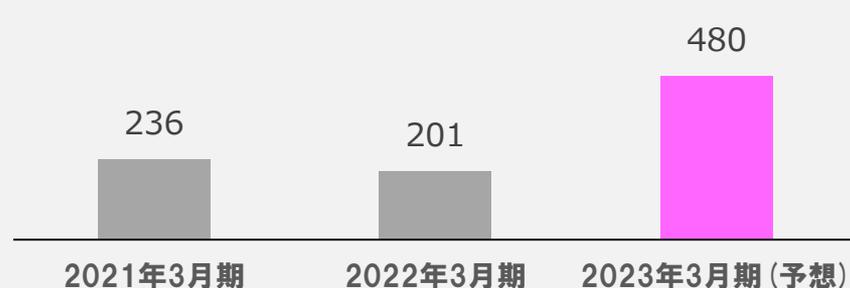
通期**20,000**百万円
(前年同期比8.8%増)



■営業利益

単位:百万円

通期**480**百万円
(前年同期比138.3%増)



■経常利益

単位:百万円

通期**480**百万円
(前年同期比124.4増%)



■親会社株主に帰属する当期純利益

単位:百万円

通期**380**百万円
(前年同期+673万円)



② 成長戦略

小売強化

- ◆ 顧客管理の徹底、車検・保険・買い替えの促進、良質車両の仕入強化
- ◆ 提供価値の高いサービスの導入
- ◆ 販売店の新規出店

BtoB取引の強化

- ◆ カーチス倶楽部会員との関係強化
- ◆ 輸出企業との業務提携による輸出販路の拡大
- ◆ 中国に設立した合併会社である青島新馳汽車有限公司の本格稼働

新たな成長基盤の構築

- ◆ カーチスファンドを活用したリースバック関連事業の推進
- ◆ M&Aや業務提携による新規事業の構築



将来の見通しについて

本資料は、投資家判断の参考となる情報提供を目的とするものであり、当社株式の購入や売却を勧誘するものではありません。

本資料には、当社グループの計画・戦略・業績等の将来予想に関する情報が掲載されており、これらの記載は、現在入手可能な情報に基づいて当社が判断したものであり、リスク及び不確実な要素が含まれています。

当社の業績は、経済情勢、事業環境、為替動向等により、将来予想とは大きく異なる可能性があります。

当社は、本資料の利用、またはこれに付随して生じたいかなる損害についても、一切責任を負うものではありませんのでご了承下さい。